



淡河町ゾーンバスの利用者を案内するスタッフの武野辰雄さん(中央)と片山美奈子さん(右から2人目)＝神戸市北区淡河町(撮影・末吉佳希)

IT市役所 ミライ形

アーバンイノベーション神戸 ④

地域の足予約スムーズに

ゾーンバス

田畑や山に囲まれた神戸市北区淡河町。里山の趣があり、今もかやぶきの民家が数多く残る。唯一の公共交通機関である路線バスは、北区岡場・三田方面と

三木方面を結ぶ神姫バスの運行便が1時間に1本程度。ほかに三宮線が日に3往復。タクシー営業所もなく、地元自治会の下部組織が、地域コミュニティ交通「淡河町ゾーンバス」を運行し、高齢者の買い物や高校生の通学を支えている。

運転は、自営業の地域住民ら8人で担う。電話予約は月600件ほどもあり、掛かってくるのは早朝、夜間になることも。地域の足を守るには受け付けの省力化、効率化が不可欠。神戸市公共交通課と、システム開発を行うユガソフトウェア(東京)が、プロジェクトに着手した。

昨年8月、11月に地元の福祉センターに通う高齢者を対象に、予約操作を体験してもらった。タブレット操作は慣れておらず、電話のプッシュ音による自動音声予約システムを軸に検討。2月まで期間延長し、シス

テムを完成させる。ゾーンバスが昨年5月に運行され、免許返納を検討する住民もいるという。運営スタッフの武野辰雄さん(44)は「ITの力を借りながら、利用者と運転手の双方の負担が減るシステムを形にしてほしい」と願う。「住民の声を聞きながら少しずつ見えてきた」と公共交通課。同社の藤田芳寛課長は「移動に困る人と、それを支える人の負担を減らし、地域の足を維持したい」と意気込む。

「なくすべきた。議会活どう考えるか。」

13日の天気

13日(日)	14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)
12:20 5	12:20 5	12:30 4	10:30 5	9:30 4
11:30 3	10:40 2	12:40 2	6:60 3	7:50 1
12:20 4	13:20 3	13:30 3	11:30 5	10:30 4
12:20 3	12:20 2	12:30 2	9:40 3	9:30 2
-3:20-9	-1:30-10	2:70-4	0:60-7	-4:50-8
6:20-2	6:20-1	9:20 0	6:40-1	5:20-2
9:50 2	10:20 2	12:10 2	11:10 3	10:10 2
12:30 3	13:20 2	12:30 1	11:20 4	10:20 2
12:10 5	13:10 5	12:30 4	11:20 4	10:10 3
12:20 4	12:10 4	12:30 3	11:20 5	10:20 4

高齢者の見守り、配食、買い物支援… 「地域サポート施設」県が認定

兵庫県は24時間対応の見守りや配食サービス、買い物支援などを地域で行う高齢者施設を「地域サポート施設」として認定する制度を始めた。施設の地域貢献活動を知事が認定する仕組みは全国初といい、第1弾として11市町の21施設を選んだ。認定施設には認定証とステッカー＝写真＝を交付し、県のホームページなどでPRする。



社法人の責務として「地域での公益的な取り組み」が規定され、無料か低額料金での福祉サービスの積極提供が求められるようになった。

県の認定制度はこの法改正を受け、見守り活動などを展開する施設をたたえ、取り組みを広げることが狙い。

2016年の社会福祉法の改正で、法人税や固定資産税などが